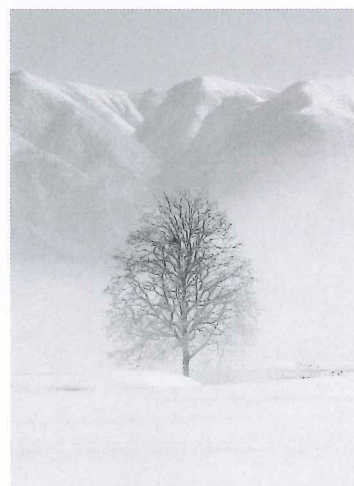
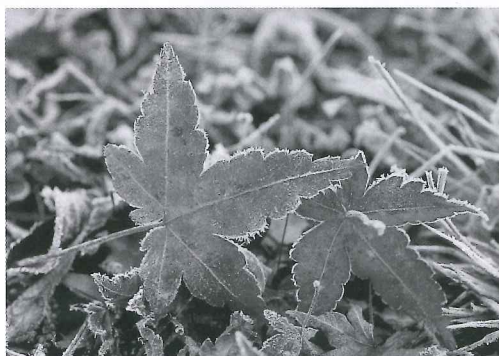
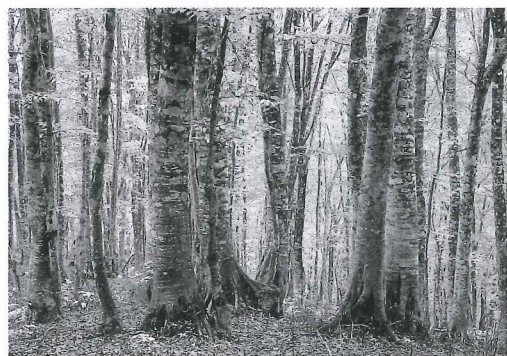
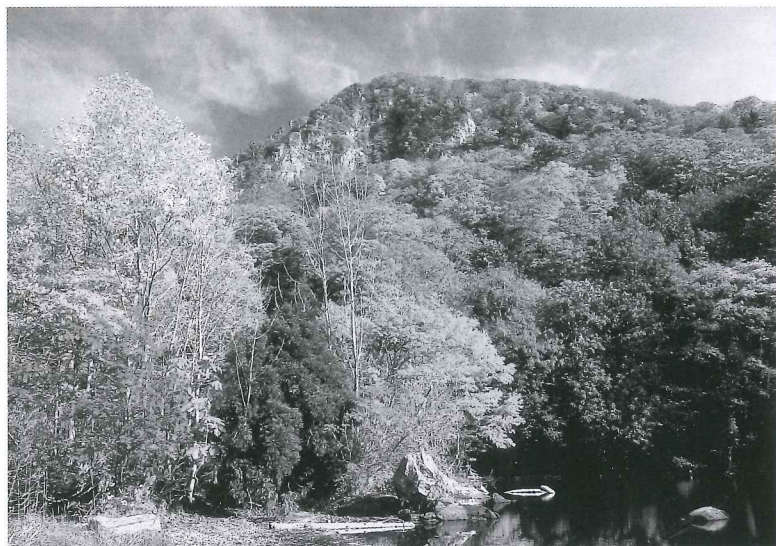


郷土の写真愛好家

松澤純一 遺作展

Junichi
Matsuzawa
1949-2021

～自然のきらめき 秋から冬～



松澤純一氏 プロフィール

昭和24年11月、真室川町に生まれる。

父親が国鉄(現JR)職員であったことから、いわゆる「鉄道少年」であり、汽車や国鉄についての知識量では右に出るものはいなかったと、古い友人たちは語る。また父親の趣味が山野草であり、少年時代から目にすることも多く興味・関心を強くしたようだ。松澤氏が「鉄道」と「自然風景」を写真の題材に選んだのは、幼少期の父親の影響が大きいと考えられる。

県立真室川高等学校に進み、福島県郡山市の専門学校を卒業後は、新庄市の沼澤歯科医院で歯科技工士として勤務をする。仕事の傍らで、写真撮影とパソコン等のIT技術を駆使しての作品制作に取り組む。加えて、鉄道模型の製作にも精力的であって、多くのジオラマ作品を残している。

定年を待たずに、早期に仕事を離れた明確な理由は定かでない。しかし、その後の趣味の世界に没頭する姿からは、何かしらの覚悟を感じ取ることができる。さらに近年は、SNSでの発信も精力的で、多くの写真仲間との交流がありその世界は益々広がっていったように感じられる。

頑固でまっすぐな人と、古い友人から評された人物であった。新しいものにも積極的に取り組むなど、旺盛な向上心の持ち主であったと遺族は語る。好きなものにはとことん取り組む姿勢は、残された作品からうかがい知ることができる。

令和6年5月、逝去。享年74歳。

受賞歴

- 2014年 48回新庄写真公募展
「トトロの木に星が降る」 新庄営業写真家協会賞
- 2015年 49回新庄写真公募展
「雨上がり」 公募展賞
- 2016年 50回新庄写真公募展
「吸蜜」 新庄市芸術文化協会賞
- 2017年 51回新庄写真公募展
「脱皮」 新庄営業写真家協会賞
- 2019年 53回新庄写真公募展
「光跡」 新庄観光協会賞
- 2021年 55回新庄写真公募展
「滴のむこうに」 新庄市芸術文化協会賞
- 2022年 56回新庄写真公募展
「星と神室の山々」 新庄協賛写真店賞
- 2023年 57回新庄写真公募展
「雫を纏て」 山形新聞・山形放送賞

主催：真室川町立歴史民俗資料館

〒999-5312 最上郡真室川町大字新町233-1 TEL/FAX.0233-62-3511

郷土の写真愛好家

松澤純

自然のきらめき

秋から冬へ

Junichi
Matsuzawa
1949-2024

遺作展

会 期: 令和6年11月12日(火)~12月11日(水)

10:00~16:00 (最終入館15:30)

会 場: 真室川町立歴史民俗資料館

(休館日: 月曜日、11/30)

入館料: 無料

主催: 真室川町立歴史民俗資料館

〒999-5312 最上郡真室川町大字新町233-1

TEL/FAX.0233-62-3511

